

# かりや市議会



刈谷市は令和7年4月1日に市制施行75周年を迎えました

議会だよりは市民の皆さんと  
議会をつなぐ「かけはし」です  
ぜひ御一読を

かつなりくん



## だより

〈第183号〉

～刈谷市議会は、議会基本条例に基づき、「市民に開かれた議会」・「市民に信頼される議会」を目指して議会活性化に取り組んでいます～

## 中学3年生が議会を体験!!

～本日の会議を開会します～



議長役による開会宣言を受けて氏名柱を立てる生徒たち

～図書館をテーマに  
白熱した議論を展開～

地方自治制度学習 令和7年10月16日～11月4日

主な記事	ページ
議決した議案	2～3
委員会視察の報告	4～5
委員会の動き	
一般質問	6～8

## 12月定例会のあらまし

この定例会は12月3日に招集され、会期17日間で  
12月19日に閉会しました。  
今回は議案など23件が提出されました。

### ◆12月3日 本会議

- （議案の大綱説明）
- ・市長による議案の大綱説明

### ◆3日～5日 本会議

- （一般質問）
- ・17人の議員による一般質問

### ◆5日 本会議

- （議案説明・審議、委員会付託）
- ・損害賠償の額を定める専決処分について了承
- ・人権擁護委員の候補者の推薦について異議ない旨答申
- ・職員の旅費に関する条例の一部改正についてなど8議案を関係する委員会に付託
- ・令和7年度刈谷市一般会計補正予算（第4号）など8議案を予算審査特別委員会に付託
- ・介護・福祉・医療など社会保障の施策拡充についての請願など2件を関係する委員会に

### 付託

- ◆5日 予算審査特別委員会
- ・各分科会を設置

- ◆9日～12日 委員会、分科会
- ・議案、請願を審査及び採決

- ◆18日 予算審査特別委員会
- ・補正予算議案を採決

- ◆19日 本会議（採決）
- ・議案（既決議案を除く）は全て原案可決

- ・請願は全て不採択

- ・令和7年度刈谷市一般会計補正予算（第5号）が追加上程され、原案可決

- ・刈谷市議会会議規則の一部改正についてなど2議案の議員提出議案が追加上程され、原案可決

- ・傍聴者は延べ121人

### 「請願書・陳情書がオンライン提出できるようになりました」

1月5日(月)から、請願書・陳情書のオンラインでの提出が可能になりました。詳細はこちらから御確認ください。



### \* 3月定例会の開催予定 \*

- 2月10日(火) 議会運営委員会（運営を協議）
- 13日(金) 本会議（開会、施政方針、議案説明など）
- 25日(水) 本会議（質問質疑など）
- 26日(木) 本会議（質問質疑など）
- 27日(金) 本会議（質問質疑など）
- 3月3日(火) 企画総務委員会・分科会
- 4日(水) 福祉産業委員会・分科会
- 5日(木) 建設委員会・分科会
- 9日(月) 市民文教委員会・分科会
- 17日(火) 予算審査特別委員会
- 23日(月) 本会議（委員長報告、採決など）

各会議は10時から17時まで（進行状況などにより、変更する場合があります）。傍聴の際は、当日次の受付へ。

本会議：市役所10階、傍聴受付

委員会：市役所9階、議会事務局受付

○託児を希望される方へ（生後6か月以上の未就学児、先着順）

臨時保育室「カンガルールーム」を御利用いただけます。

傍聴希望日の1週間前までに議会事務局へ御連絡ください。

○手話通訳・要約筆記を希望される方へ

傍聴希望日の1週間前までに議会事務局へ御連絡ください。

○質問質疑等KATCH放送(地上デジタル112チャンネル)

2月18日(水)、3月2日(月)、4日(水)、6日(金)いずれも10時から。詳しくは㈱キャッチネットワークのホームページを御覧ください。





# 主な議案

## 12月定例会

(要約して掲載しています)

### 単行議案

■指定管理者の指定について  
(刈谷駅北地区地域交流施設)

経験を通して成長できるように、子供の育ちを応援するための制度である。また、保育士の確保については、こども誰でも通園制度実施予定の2つの園では既に一時保育を実施しており、その専用室において合同で実施するため、一時保育の保育士などによって確保できる。そして、一時保育の受入れが減ること、サービスの低下につながらないように努めていく。

【問】 これまでの指定管理の実績や今後の事業計画を基に人件費や事業費などの必要な経費を精査し、算出している。

【答】 指定管理者は、自主財源を持って自立した組織であるべきだと考えるが、指定管理料以外に安定した収入源はあるか。

【問】 刈谷駅南北連絡通路に設置したデジタルサイネージにおける民間広告やカリコへの自動販売機設置は自主事業であり、指定管理者の収入源になっている。決算報告資料によると、そのほかにもコインロッカーの管理手数料収益や商店街等からの受託事業収益が計上されており、健全経営に努めていると聞いている。

【答】 令和8年度からは、指定管理料であるおがきえ保育園とあおば保育園の一時保育の保育室を利用して、一時保育と合同で実施する。時間帯は、平日の午前2時間、午後2時間で、定員はおがきえ保育園は午前午後各3人、あおば保育園は、午前午後各2人とする予定である。

【問】 事業の制度設計はどのようなか、また、事業開始に向けて予算措置を行っているか。

【答】 令和8年度からは、指定管理料であるおがきえ保育園とあおば保育園の一時保育の保育室を利用して、一時保育と合同で実施する。時間帯は、平日の午前2時間、午後2時間で、定員はおがきえ保育園は午前午後各3人、あおば保育園は、午前午後各2人とする予定である。

### 条例議案

■刈谷市乳児等通園支援事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の制定について

【問】 既に実施されている一時保育と、こども誰でも通園制度との違いはどのようなか、また、保育士の確保ができるのか、一時保育のサービス低下につながるか。

【答】 一時保育は保護者の理由により一時的に子供を預けられる制度で、こども誰でも通園制度は、保護者の理由に関係なく、子供が家庭だけでは得られない

配置については、市独自に高い基準を設け、その他の基準については、内閣府令の基準のとおりとすると規定した。

【問】 実施園を拡大する考えはあるか。

【答】 令和10年4月に今岡町に開所予定の私立保育園で実施を予定している。

【問】 事業の開始にあたり、一時保育の枠が減ることになると考えるが、一時保育の枠を減らしてまで実施することに関する市の考えはどのようなか。

【答】 利用の仕方等について、こども誰でも通園制度の利用者のニーズが把握できないことから、予約の時期をずらし、こども誰でも通園制度の利用者がいない場合には、その枠を一時保育に変えることもできるので、市民の方が困らない、よりよい制度と体制を考えていきたい。

### 補正予算議案

全議員で構成する予算審査特別委員会を経て、関係する分科会で審査しました。

12月18日に再度予算審査特別委員会を開催し、各分科会での審査結果について各分科会委員長から報告を受け、19日の本会議においていずれも原案のとおり可決しました。また、同日、物価高対応子育て応援手当支給

に関する令和7年度刈谷市一般会計補正予算(第5号)が追加上程され、原案のとおり可決されました。

補正する額(一般会計)

15億4632万9千円

補正後の予算総額(一般会計)

774億7053万5千円

補正後の予算総額(全会計)

1150億732万3千円

#### 【主な事業】

##### 公園施設更新事業

【問】 洋式化を実施するトイレは何か所か。

【答】 フローラルガーデンよさみ、ついで公園、池田公園、清池公園、八枚公園、かねまん広場の6か所である。

【問】 公園等トイレ改修計画で洋式化が完了する目標年度と現在の進捗はどのようなか。

【答】 公園等トイレ改修計画では、計画期間を令和4年度から15年間と設定しており、18年度の完了を目指している。現在、148か所のうち21か所が完了しており、進捗率は14・2%である。

※市民の方等から貴重な御寄附を頂きました。補正予算に計上し、活用させていただきます。

・児童福祉事業費寄附金

117万3千円

・図書館事業費寄附金

5万円

### 人権擁護委員の候補者の推薦について

令和8年3月31日で任期満了となるので、次の方を推薦することに異議ない旨答申しました。(任期3年)

木村 光子 氏

(4期目・末広町)

人権擁護委員とは…  
国民に保障されている基本的人権を守るため、法務大臣より委嘱されます。市長は議会の意見を聞き、法務大臣に推薦します。

### 議会トピックス

#### ■中学3年生が議会を体験

本市の中学3年生が「地方自治制度学習」として市議会を訪れました。議場では、生徒が議員席や理事者席に座り、議会の仕組みを学びました。次に、図書館の新設条例を題材にして、実際に議案が議決されるまでの流れを体験しました。市長役による議案説明の後、市民文教委員会を想定したグループに分かれ、その賛否の議論を行いました。

討論では、新しく図書館ができることで、中央図書館の学習室の混雑を解消することが期待できるため賛成との意見や、電子書籍の利用者が増えているため、高額な建設費用を別の事業に活用すべきであるため反対との意見など、様々な視点から意見が出され、議員さんからの白熱した議論が展開されました。グループの意見を発表する委員長報告の後、採決を行い、議案の賛否を決定しました。


#### 【生徒の感想】

・市議会議員は定数28人と知り、学校の1クラスよりも少ない人数で刈谷市民15万人の意見を反映させると考えると、これまで以上に選挙の重みを感じました。

・市民全員で話し合うことはできないので、自分の代わりに今後の刈谷市について考え、話し合う代表者である市議会議員を決める選挙は、今後の刈谷市を決めることにつながる感じがかりました。

・委員長報告では、賛成と反対のどちらの意見も報告するため、少数意見も尊重されていると思いました。  
・日頃、自分が感心を持っていなかった市のことについて議会でしたっきり話し合われていることに驚きました。18歳になって選挙権を持つことができたなら、色々な情報を入手しながら、投票に行きたいと思いました。



議決結果一覧表（※）…賛否が分かれたもの	
・損害賠償の額を定める専決処分について	了承
・人権擁護委員の候補者の推薦について	異議ない旨答申
【企画総務委員会関係・5議案】	全て可決
・職員の旅費に関する条例の一部改正について	
・刈谷市議会の議員の議員報酬・費用弁償及び期末手当に関する条例の一部改正について（※）	
・特別職に属する職員の給与及び旅費に関する条例の一部改正について（※）	
・職員の給与に関する条例の一部改正について（※）	
・刈谷市一般職の任期付職員の採用等に関する条例の一部改正について（※）	
【建設委員会関係・2議案】	全て可決
・指定管理者の指定について（刈谷駅北地区地域交流施設）	
・刈谷市地区計画の区域内における建築物制限条例の一部改正について	
【市民文教委員会関係・1議案】	全て可決
・刈谷市乳児等通園支援事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の制定について（※）	
【予算審査特別委員会関係・8議案】	全て可決
・令和7年度刈谷市一般会計補正予算（第4号）（※）	
・令和7年度刈谷市刈谷小垣江駅東部土地地区画整理事業特別会計補正予算（第1号）（※）	
・令和7年度刈谷市刈谷野田北部土地地区画整理事業特別会計補正予算（第1号）（※）	
・令和7年度刈谷市国民健康保険特別会計補正予算（第2号）（※）	
・令和7年度刈谷市後期高齢者医療特別会計補正予算（第2号）（※）	
・令和7年度刈谷市介護保険特別会計補正予算（第2号）（※）	
・令和7年度刈谷市水道事業会計補正予算（第2号）（※）	
・令和7年度刈谷市下水道事業会計補正予算（第3号）（※）	
【請願・2件】	全て不採択
・介護・福祉・医療など社会保障の施策拡充についての請願（※）	
・子どもたちの健やかな成長と権利擁護を求める請願（※）	
【追加上程・1議案】	可決
・令和7年度刈谷市一般会計補正予算（第5号）	
【議員提出議案・2議案】	全て可決
・刈谷市議会会議規則の一部改正について	
・刈谷市議会委員会条例の一部改正について	
請願の提出方法についてはこちら↓	
	

## 12月定例会提出議案の賛否

賛否が分かれたものについて掲載します。（○：賛成 ×：反対）

会派名及び議員名  議案名及び議決結果			自民クラブ								市民クラブ					公明クラブ			清風クラブ			所属の 議員会 無議		日本共産党議員団	にじいろの会	参政党	刈谷市議団 日本維新の会	議長	副議長
			大山 実	葛原 祐季	近藤 澄男	揚張 慎一	加藤 廣行	外山 鉦一	稲垣 雅弘	佐々木 隆教	伊藤 愛恵	鈴木 定晴	深谷 英貴	中嶋 祥元	佐原 充恭	武藤美 智代	谷口 睦生	松永 寿	上田 昌哉	新海 真規	星野 雅春	鈴木 絹男	蜂須賀 信明	山本シ モ子	城内 志津	森島 公祐	三田 真弥	鈴木 正人	加藤 幹樹
刈谷市議会の議員の議員報酬、費用弁償及び期末手当に関する条例の一部改正について			可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	○	○	×	×	○	×		○	
特別職に属する職員の給与及び旅費に関する条例の一部改正について			可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	○	○	×	×	○	×		○	
職員の給与に関する条例の一部改正について			可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×		○	
刈谷市一般職の任期付職員の採用等に関する条例の一部改正について			可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×		○	
刈谷市乳児等通園支援事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の制定について			可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○		○	
令和7年度	刈谷市一般会計補正予算（第4号）		可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	○	○	×	×	○	×		○	
	刈谷市刈谷小垣江駅東部土地地区画整理事業特別会計補正予算（第1号）		可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×		○	
	刈谷市刈谷野田北部土地地区画整理事業特別会計補正予算（第1号）		可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×		○	
	刈谷市国民健康保険特別会計補正予算（第2号）		可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	×		○	
	刈谷市後期高齢者医療特別会計補正予算（第2号）		可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○		○	
	刈谷市介護保険特別会計補正予算（第2号）		可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	×		○	
	刈谷市水道事業会計補正予算（第2号）		可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×		○	
刈谷市下水道事業会計補正予算（第3号）		可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×		○		
介護・福祉・医療など社会保障の施策拡充についての請願			不採択	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	×	×		×	
子どもたちの健やかな成長と権利擁護を求める請願			不採択	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	○	×	×	○	○	○	○		×	



# 市とすゐるために

## 各委員会で先進事例を視察～ ※…掲載した項目

### ◆福祉産業委員会（10月15日～17日）

- 神奈川県返子市 重層的支援体制整備事業について
- 埼玉県東松山市 T A B E T E レスキュー直売所について
- ※埼玉県戸田市 戸田市100年健康プロジェクトについて

### ◆企画総務委員会（10月15日～17日）

- 香川県観音寺市 シティプロモーションの取組について
- 愛媛県松山市 消防団員確保の取組について
- ※愛媛県今治市 戦略的情報発信プロジェクトについて

#### 人生100年時代を楽しく豊かに過ごせる地域づくり ー健康寿命や医療費等の問題への取組を学ぶー 福祉産業委員会委員長 鈴木 絹男

##### 目 的

戸田市100年健康プロジェクトにおける健康づくりの取組やスマートウエルネスシティ推進プランについて学ぶ。

##### 視察内容

戸田市100年健康プロジェクトは、若者からお年寄りまで運動や食生活改善等の健康づくりを促進し、仕事や地域活動等の「社会とのつながり」を応援し、人生100年時代を楽しく豊かに過ごせる地域をつくることを目的としている。その取組として、スマートウエルネスシティ推進プランを策定し、キッズ健幸アンバサダーの養成及び食生活改善による健康づくりなどの取組を行っている。

##### 所 感

戸田市は平たんな地形を生かした健康づくりの視点でハード面・ソフト面の整備をするためにスマートウエルネスシティ推進プランを策定し、まちなかウォークابلとバイシクルシティの推進を掲げている。担当部署と業者が連携しながら事業を盛り上げていると感じた。このスマートウエルネス推進プランは、健康づくりによる健康寿命の延伸を目指す姿としており、市民の自分事である「健康」というものは、市民だけでなく、自治体の重要テーマでもあることを今後どれだけ市民にも周知徹底していけるかが、成功の試金石となると感じた。



健康プロジェクトの取組を学ぶ

#### 刈谷市の持つ魅力を全国へ伝えるために ー戦略的情報発信の事例を学ぶー 企画総務委員会委員長 近藤 澄男

##### 目 的

市の魅力をストーリー性のある情報として発信するとともに、継続的かつ多面的な情報発信により市の認知度拡大を目指す取組を学ぶ。

##### 視察内容

今治市は、市の魅力を全国に伝えるために情報発信を強化するべく、部局横断型のプロジェクトチームを組織し、各部局が点として発信していた情報を集約し、ストーリー性を持たせ、面的に情報発信している。芸能人とのタイアップによる地域の食材を発信するコンテンツの制作など、情報発信のベクトルを地方創生へと向ける取組を行うとともに、マーケティング機能を担うチームへの進化を目指している。

##### 所 感

今治市はこれまで、全国に伝わっているものと思っていた市の魅力が認識されていないことがわかったことから、情報発信の方針を大きく転換した。戦略的情報発信プロジェクトチームによるプレスリリースサービス「PR TIMES」の発行では、オリジナルデザインマンホールなど、これまで発信力がなかった分野が思わぬ反響を呼び、大きな効果を生み出した。この取組により、関係人口の創出、地域経済の活性化、それらによる地方創生を目指す姿は本市の情報発信を考える上で参考になる事例であった。



戦略的情報発信の取組を学ぶ

## の 動 き

主に次のことについて、質問などがありました。

### 福祉産業委員会

#### エンディングノート

- 問** エンディングノートはどこで配布しているのか。
- 答** 本市では、刈谷市版のエンディングノートである「大切な方への絆ノート」を作成しており、長寿課の窓口や地域包括支援センターで配布しているほか、市のホームページからダウンロードすることもできる。
- 問** 配布することで得られる効果をどのように分析しているか。
- 答** 絆ノートを作成し、自身の価値観や人生を振り返ることで、終末期についての選択肢を冷静に考え、意識するきっかけになるとともに、自身の希望を整理し、家族へ伝えることで、安心して終末期を過ごすことができるようになるものと考えている。
- その他「食による健康づくり」「マイナ保険証」「いきいきクラブ補助金」などがありました。

### 企画総務委員会

#### 災害時のドローン活用

- 問** ドローンを使用した実地訓練の目的はどのようなか。
- 答** 災害時の情報収集方法を整理することを目的として、市内の北部と南部の2か所において、ドローン活用に関する協定を締結している事業者の協力を得て実施した。
- 問** 訓練の成果はどうか。
- 答** 映像の解像度や、建物被害や交通状況を把握できる距離を確認し、災害時にドローンを飛行させる地点を整理することができた。
- 問** 今後の実地訓練についての検討はどのようなか。
- 答** 発災初期の情報収集は大変重要であるため、定期的に初動体制を確認するための訓練を協定事業者と協力して実施する。
- その他「消防団」「市民相談」「市役所及び関連部署の開庁時間の短縮」などがありました。



# より魅力ある刈谷

## ～住みたい、住み続けたい刈谷市を目指して、

### ◆市民文教委員会（10月22日～24日）

- ※群馬県高崎市 ヤングケアラーSOSについて  
群馬県前橋市 自治会DXについて  
東京都武蔵野市 武蔵野プレイスについて

### ◆建設委員会（10月22日～24日）

- 山口県防府市 「市内一円インクルーシブ遊具整備事業」を含む公園整備について  
山口県周南市 徳山駅周辺官民連携管理運営事業について  
※香川県丸亀市 丸亀城の復元及び石垣の復旧について

#### トップダウンのヤングケアラー支援 一気づきから支援までの体制を学ぶ

市民文教委員会委員長 中嶋 祥元

##### 目 的

子供に平等な教育機会を提供するための高崎市の支援事業「ヤングケアラーSOS」の取組を学ぶ。

##### 視察内容

高崎市では令和4年9月より市長の「高崎市の子どもは高崎市で守る」という強い思いから「ヤングケアラーSOS」を開始。市内在住の中高生を対象に掃除・洗濯・調理などの家事、きょうだいの世話、家族の介護を行ってくれるサポーターを無料で派遣している。原則2名のサポーターが1日2時間、週2回を限度に訪問。サポーターは登録制で、介護福祉士や保育士などの有資格者約100名が登録している。

##### 所 感

この取組で重要なのは大人たちがいかに早く子供のSOSに「気づく」かであり、それができるのが最も子供の情報を多く持つ学校である。そこで学校の教職員や周囲の大人の「気づき」を支援の起点とする仕組みをつくることで、ヤングケアラーの早期発見、支援までのプロセスを最短で行っていると感じた。国の法律制定に寄与できたトップダウンの施策であり、地方の声が成果を上げていることに感銘を受けた。このように教育と福祉部門が連携した事例としてとても参考となる取組であった。



ヤングケアラー支援の取組を学ぶ

#### 文化財をまちのシンボルとして守り活用する 一丸亀城石垣崩落復旧整備の取組を学ぶ

建設委員会委員長 葛原 祐季

##### 目 的

丸亀城石垣の文化財としての保存・再生の取組を通じ、まちのシンボルとしての郷土文化の継承や観光資源としての活用の在り方を学ぶ。

##### 視察内容

丸亀城石垣の復旧工事では、文化財保護の観点から“元あった姿での復旧”を基本としつつ、長期的な安全性・維持管理を確保するため伝統的な石積み工法と現代の補強工法を採用している。財源は総事業費の約7割の国庫補助を受け、寄附金募集等も積極的に行っている。さらに、工事自体を観光資源・歴史教育・防災啓発の場として位置づけ、現場説明会等を開催して市民参加を促す取組も行っている。

##### 所 感

丸亀城を視察し、文化財としての価値の重さと、まちづくりを支える観光・防災・地域協働の多重的な意義を改めて実感した。石積みという伝統技術に新しい工法を組み合わせる手法や、事業費・工期の大幅な修正から「将来世代へ引き継ぐ強い意志」が感じられた。加えて、現場の説明会等を通じて地域とともに進めている点も印象深い。まちのシンボルを守るという使命感が、観光資源活用、防災啓発、地域参画という広がりを持って展開されており、丸亀公園を生かした本市のまちづくりに示唆を受けた。



工事現場と石垣復旧PR館を現地視察

## 委員会

委員会では、議案、請願の審査のほか、

### 市民文教委員会

#### 市民休暇村のクマ対策

【問】クマの目撃情報について把握しているか。

【答】刈谷市民休暇村が所在する長野県下條村での目撃情報は足跡らしきものも含めると計8件である。直近では休暇村から南へ5キロ程離れた鎮西地区で目撃情報があった。

【問】施設における対策はどのようなか。

【答】施設利用者への注意喚起として施設内に注意を促す文書を掲示しているほか、外出する際の貸出用としてクマ鈴やクマスプレーを施設に準備し、希望者に渡している。また、クマの餌となるような果実がなる樹木が生育していないかなどを巡視により点検、清掃しており、クマを引き寄せない対策をしている。

その他「多文化交流フェスタ」「オンライン授業の出欠の取扱い」「病児・病後児保育事業」などがありました。

### 建設委員会

#### あいかりでいつでもどこでも市へ連絡

【問】舗装や側溝など道路に関する情報が該当する項目は何か。

【答】道路等補修箇所とガードレール修繕である。

【問】投稿の主な内容は何か。

【答】道路のへこみやひび割れなど道路舗装に関する投稿が最も多く、その他には、区画線が薄くなっているものや側溝蓋の破損及び草刈りの要望もある。

【問】市の業務における効果はどのようなか。

【答】あいかりは写真や地図が投稿でき、現場の状況や位置を確実に把握することができる。危険箇所などの早期補修が可能となり、陥没や事故などを未然に防止し、道路の安全性向上につながっている。

その他「矢作川流域上下水道一本化基本方針（案）」「城・まち刈谷デザイン会議」「刈谷城」などがありました。



# 一般質問

## 市政のついでを問う

この定例会では、12月3日から5日までの3日間で、17人が登壇し、36項目にわたり、市政について一般質問が行われました。主な項目について要約し、掲載します。

### 質問項目（発言順） ※：掲載した項目

深谷 英 貴 議員

- 1 令和8年度当初予算編成について
- ※2 刈谷市のeスポーツの取組について

森 島 公 祐 議員

- 1 給食について
- ※2 部活動の地域移行について

稲 垣 雅 弘 議員

- ※1 緑と農の調和する田園都市づくりについて

星 野 雅 春 議員

- ※1 刈谷市の健康施策等について
- 2 カスタマーハラスメント等について

葛 原 祐 季 議員

- ※1 刈谷市のにぎわい創出関連事業について

新 海 真 規 議員

- 1 不登校について
- 2 南北縦貫道について
- ※3 生活保護について

上 田 昌 哉 議員

- ※1 こどもへの性被害について
- 2 社会保障について
- 3 排水機場について

揚 張 慎 一 議員

- ※1 市内の環境対策の取組について
- 2 農作物の害虫対策について
- ※3 地震等災害発生時の対応について

山 本 シモ子 議員

- ※1 平和都市宣言を市内外に高らかにうたいあげるについて
- 2 市民生活応援の諸施策の拡充について
- 3 暮らしに逆行する施策について

鈴 木 絹 男 議員

- ※1 名古屋三河道路について

城 内 志 津 議員

- ※1 校舎の避難所利用について
- ※2 香害・化学物質過敏症について
- 3 人権文化が息づくまちづくりについて

各議員の見出しに掲載している二次元コードから一般質問の議会映像を御覧になれます。



深谷 英貴 議員  
新しい時代の潮流を捉え、  
eスポーツの積極的な推進を!!



問 市としてeスポーツに取り組むこととなった具体的なきっかけは何か。

答 年齢や性別などにかかわらず、子供から高齢者まで多様な世代が参加でき、市内外への本市の魅力発信につながると考え、令和5年度に若手職員を中心とした職員プロジェクトチームで検討を始めたことがきっかけである。

問 子供や若者を対象とした「にぎわい」づくりの取組はどのようなか。

答 75周年記念事業として開



森島 公祐 議員  
今後も中学校の部活動を  
今までもどおり継続を!!



問 部活動には教育的意義があり学校教育の一環として行われてきた。他市では部活動を継続させる事例もある。本市も地域の実情に合わせて、部活動を今までもどおり続けていくべきだと思うが、市はどのように取り組むか。

答 生徒がより専門的な指導を受けられるよう外部指導者の充実を図り、当面は学校部活動の形を維持しながら、地域連携を進めたい。また、指導を希望する教員が関わる体制づくり等、よりよい在り方を検討したい。

問 市民は部活動がなくなるのかと不安を感じている。市はどのような考えで部活動の地域展開を進めるのか。

答 他市の取組にも注視しながら、将来的には、部活動から地域クラブ活動に展開すること

問 市民は部活動がなくなるのかと不安を感じている。市はどのような考えで部活動の地域展開を進めるのか。

答 他市の取組にも注視しながら、将来的には、部活動から地域クラブ活動に展開すること



稲垣 雅弘 議員  
緑と農業の調和の取れた  
まちづくりを!!



問 農事組合法人よさみのように、農業の効率化や、働く場の創出のために、農業者の法人化を進めるべきと考えるが市の見解はどのようなか。

答 地域における担い手が減

少する中、今後継続して農地を管理・耕作していくためには、農業者の法人化が重要であると考えており、農業者のための法人化セミナーを12月に開催し、法人化への機運づくりのきっかけにしていきたい。

けにしていきたい。

問 緑と農が調和するまちづくりに向け、都市農地の活用として、市民菜園をどうしていくのか。

答 市民菜園は、園主の指導の下で利用者が継続的に農作業を行う、農園利用方式で運営しており、多くの市民が楽しんでいる。



星野 雅春 議員  
膵臓がん検診として、  
超音波検診の導入を!!



問 刈谷市の部位別のがんの死亡者数はどうか。

答 現在、確認できる直近3年分で、多い順に答えると、令和3年は、気管、気管支及び肺がんが58人、大腸がんが49人、胃がんが34人。4年は、気管、気管支及び肺がんが76人、大腸がんが49人、膵臓がんが43人。5年は、気管、気管支及び肺がんが75人、膵臓がんが45人、大腸がんが42人である。

問 膵臓がんは、5年の生存率が1桁で、できるだけ早く見つける必要があるため、超音波

答 KARIYA大演会の来場者数と算出方法はどのようなか。



葛原 祐季 議員  
KARIYA大演会の  
実績と評価は!!



問 来場者数はチケットの売上枚数やGPSを利用して得たデータを基に算出し、ライブエリアが約2000人、パークエリアが約3500人であった。

問 マルシェ出店者のうち刈谷市商店街連盟の加盟店の数と出店者の満足度はどうか。

答 出店者112店舗の内、刈谷市商店街連盟を通じた出店者は21店舗だった。「来場者が少なく、売上が振るわなかった」といった声も一部あった。



KARIYA大演会のレガシーを  
次につなげて新たなにぎわい創出を

問 シヤトルバスの利用者と警備に係る費用等はどうか。

答 シヤトルバスは延べ約1



中嶋 祥元 議員

※1 刈谷市の魅力づくりとにぎわい創出について  
※2 魅力あふれる公園づくり（ドッグラン設置）について

大山 実 議員

※1 刈谷市スポーツ振興施策について  
※2 福祉健康施策の充実について

外山 鉦一 議員

※1 小中学校における英語教育の現状について  
※2 公共施設連絡バスの再編について

武藤 美智代 議員

※1 福祉や産業の後継者の育成について  
※2 地域福祉の担い手の育成について  
※3 乳幼児を感染症から守るための取組について

蜂須賀 信明 議員

※1 EBP Mに基づく行政運営について  
※2 職員制度の在り方と人材育成の方向性について

谷口 睦生 議員

※1 医療DXの推進について

000人、駐車場は約900台  
用意し162台の利用があった。  
警備及び交通誘導に係る人数は  
70人ほどで、費用は約300万  
円であった。

問 イベントの評価はどうか。



新海 真規 議員  
デフレ調整追加支給を速やかにし、  
生活保護受給者の救済を!!



問 生活保護の申請件数と受  
給者数の推移はどうか。

答 申請は令和2年度61件、  
3年度99件、4年度108件、  
5年度118件、6年度113  
件である。受給者数は2年度4  
95世帯611人、3年度51  
6世帯638人、4年度543  
世帯658人、5年度525世  
帯621人、6年度533世帯  
627人である。

問 生活保護の受給条件はこ  
れまでに変更があったか。

答 生活保護法が昭和25年に  
施行されてから現在まで大きな

答 初開催のフェスで難しい  
部分はあったが、大きな問題も  
なく開催でき、当初の目的どお  
り、若い世代を中心とした音楽  
好きの方などに本市を意識して  
もらうきっかけになった。

問 受給者の自動車保有や生  
命保険加入の制限はあるか。

答 自動車は障害のある人や  
公共交通機関の利用が著しく困  
難な地域に居住する人が通勤、  
通院のために利用する場合など  
一定の要件を満たさないと保有  
が認められない。生命保険は毎月  
の保険料や解約返戻金が少額で  
ある場合には加入を認めている。

問 市内のデフレ調整の追加  
支給の対象者の数はどれほどか。

答 現時点で約500世帯を  
見込んでいる。

上田 昌哉 議員

性犯罪ゼロの刈谷市を目指す!!



問 令和8年12月25日からこ  
ども性暴力防止法が施行される  
が、市としてどのように考えて  
いるか。

答 こども性暴力防止法は、  
事業者に対し、児童対象性暴力  
を防止する措置を講じることな  
どを義務づける法律である。具  
体的には、職場のルールづくり  
や研修などによる初犯防止対策、  
業務従事者の性犯罪歴の有無を  
確認する再犯防止対策、性犯罪  
歴があった場合に性暴力のおそ  
れがあるとの判断の下に行う内  
定取消しなどが盛り込まれた内



市内の環境対策、地震等災害  
発生時の対応について問う!!



問 雨水調整池で葦やガマが  
池全面に生息した要因は何か。

答 池の水深が50センチメー  
トルより浅く、常に日光が届く  
場所や保水性のある粘土質の土  
壌を好むとされているため、こ  
れらの条件がそろっている池に  
生息しやすいと考えている。

問 在宅避難の場合、使用後  
の携帯トイレ等は、どのように  
処理したらよいのか。

答 避難所の携帯トイレ等の  
処理と同様、可燃ごみとして収  
集することを想定しており、可  
燃ごみの収集体制が整うまでの

容となっており、児童の安全を  
守るために効果があるものと認  
識している。

問 義務対象施設で働く人の  
性犯罪歴をどのように調査する  
のか。

答 事業者がこども家庭庁に  
申請することとなるが、必要書  
類のうち戸籍情報については本  
人から直接こども家庭庁に提出  
する。その後、こども家庭庁が  
法務省に対し犯罪情報の照会を  
行い、最終的に犯罪事実の確認  
書が申請事業者に交付されると  
示されている。

問 は、各家庭において保管して  
いただくことになる。なお、計  
算上では90リットルのポリバケ  
ツに150回分の汚物が保管で  
きる。

問 在宅避難の要支援者には、  
どのように救済物資等を届ける  
計画か。

答 近くの避難所に避難所登  
録票を提出していただき、避難  
所運営委員会の屋外支援班が必  
要に応じて要配慮者支援班と連  
携し、自主防災会やボランティア  
の方々の協力を得て届けるこ  
とを想定している。



山本 シモ子 議員  
平和都市宣言の制定を契機とした  
平和行政の一層の推進を!!



問 これまで宣言の制定を強  
く求めてきたが、市は国が非核  
三原則を堅持していることを理  
由に宣言は必要ないとの答弁が  
繰り返されてきた。戦後80年の  
節目に制定されたことを高く評

価しているが、改めて、堅持に  
対する市の姿勢はどうか。

答 国は国民の安全を守る立  
場から責任ある判断がなされる  
ものと考えており、本市として  
は国の動向を見守っていく。

問 宣言に非核が入らなかった。  
非核自治体宣言に前進させ  
ることを再度求めるが、どうか。

答 宣言文に「核兵器のな  
い」等の具体的な表現を明記す  
ることで、世界の恒久平和を目  
指す本市の思いを表しているか。

問 来年度の平和の集いはど  
のような内容を予定しているか。



鈴木 綱男 議員  
刈谷の未来を開く  
名古屋三河道路の早期実現を!!



問 現時点で示される南側  
ルートの認識はどうか。

答 中南部地域の市街地や依  
佐美工業団地等の産業集積地か  
らのアクセス性向上及び騒音や  
振動等市民の生活環境への影響  
が考慮され適正なルートである。

問 インターチェンジの整備  
がもたらす効果はどうか。

答 物流の円滑化、渋滞緩和  
によるアクセス性や防災機能の  
向上など大きな効果をもたらす。

問 商業誘致と都市計画を一  
体で進める必要性はどうか。

答 商業施設の誘致は住民の

答 戦争を体験された方から  
の講話等を考えている。

問 宣言を周知する立て看板  
の設置を強く求めるが、どうか。

答 原爆投下の日や原爆パネ  
ル展等の開催期間中に懸垂幕を  
掲揚することで啓発の効果が高  
まると考えるが、今後も掲揚塔  
の活用等による周知を検討する。

問 今後、市としてどのよう  
な姿勢で臨むのか。

答 伊勢湾岸自動車道等、高  
速道路ネットワークと一体とな  
り、国際競争力の強化、国土強  
靱化に大きく貢献する極めて重  
要な道路である。未来の発展の  
ため早期実現を目指し、引き続  
き全力で取り組んでいく。



城内 志津 議員  
災害時の学校施設利用計画を  
策定して公開を!! 香害の周知を!!



問 全ての学校で校舎も避難  
所利用できる計画があるが、学  
校と地区防災関係者しか把握し  
ていない。また学校は本来教育  
施設である。避難者の円滑な誘  
導や教育活動の再開を見据えた  
学校施設利用計画を策定し、公  
開しないか。

答 教室の区分け計画と自主  
防災会が作成する避難所のレイ  
アウト図は、地区の関係者に周  
知すればよいという認識である。  
各避難所の備蓄倉庫内にある初  
動ボックスに格納している。

問 柔軟剤等の人工的な香料

や化学物質により健康被害を及  
ぼす香害で苦しむ人や子供が増  
えているため、各方面に周知し  
ないか。学校で保護者と児童生  
徒に実態調査を実施しないか。

答 ホームページに加え、L  
INEやSNSを活用して周知  
啓発する。市が関係する福祉施  
設には周知し、保育園などでも  
積極的に情報発信をしていく。  
学校では校長会を通して各学校  
に周知をお願いし、保健調査票  
の連絡欄には化学物質や香りの  
過敏症についても記入できるよ  
う周知徹底する。





中嶋 祥元 議員  
魅力あふれる公園づくりには、  
ドッグランの設置が必要!!



**問** 市民が考える魅力あふれる公園に対し市の認識はどうか。

**答** 幅広い世代が楽しめ、交流できる公園との意見が多くあり、市もその思いを持って構想の取りまとめを実施した。

**問** 構想を策定する中で、ペットに関する市民の声はどうか。

**答** アンケート調査では、ペット連れで楽しめる場所やドッグランがあればよいと思うとの回答があった。

**問** 約10%の世帯で犬が飼われている市内において、十分なスペースのあるフローラルガーデンはどうか。



大山 実 議員  
スポーツに対してもっと市民が  
盛り上がるような施策を!!



**問** ホームタウンパートナー制度の目的とチーム数の推移はどうか。

**答** 刈谷市をホームタウンとして、全国や世界で活躍するスポーツチームを認定することにより、スポーツの推進及びイメージアップを図ることを通じたスポーツの活性化を目的としている。平成31年度に13チーム、今年度は11チームである。

**問** ホームタウンパートナーに対する市の対応はどうか。

**答** 市ホームページ、LINE、インスタグラム等を通じて



外山 鉦一 議員  
A-1は本市の英語教育を  
全国トップレベルと評価!!



**問** AIは本市をA-1の活用や小中連携、児童の英語意欲の面で先進的な自治体と評価しているが、主な取組は何か。

**答** 刈谷市版指導案を作成し、学習環境を整えながら子供たち

**答** 保護者からは、正しい発音を身につけてほしいとの声があり、ネイティブスピーカーのA-1Tを各学校に派遣している。6年生の約9割から「英語の勉強は大切」と回答があった。

**問** 中学校英語授業の英語実

**答** 原典英語による授業が行



武藤 美智代 議員  
地域で支える力を育てる!!  
福祉の担い手づくりと人材確保を!!



**問** ちよこつとささえあい事業の目的と経緯はどうか。

**答** 高齢者が住み慣れた地域で暮らし続けるため、ちよつとした困り事を地域で解決する取組が重要であると考え、生活支援の体制整備を目的に開始した。

**問** 利用状況と実績はどうか。

**答** 11月末現在で、利用者168人、サポーター1337人、マッチング1027件に達し、12月から全地区へ拡大している。

**問** 介護人材確保の現状と認識はどうか。



蜂須賀 信明 議員  
市民のために考え、学び続ける  
職員を支える仕組みづくりを!!



**問** 限られた資源の中で最大の成果を上げるためには、その鍵となるEBPM（根拠に基づく政策立案）の実践と、職員一人一人の力が重要だと考えるが、人事評価との関係はどうか。

**答** 人事評価は政策立案手法の要素だけでなく、業績目標の達成度合いなどを総合的に勘案するが、実行力やチャレンジ精神などを発揮すれば評価に考慮される。

**問** 新しい政策提案や業務改善に挑戦した職員を積極的に評価、表彰する制度はあるか。

**答** グローバル化が進む中で、子供たちには、世界に羽ばたき活躍できる人になってもらいたい。そうした子供を育む英語教育に取り組んでいく。

われており、生徒一人一人へのきめ細やかな指導を行っている。

**問** 本市が目指す英語教育はどうか。

**答** 子供たちには、世界に羽ばたき活躍できる人になってもらいたい。そうした子供を育む英語教育に取り組んでいく。

**問** 厚労省が推進する介護未経験者等マッチング機能強化モデル事業をどのように受け止めているか。

**答** 民間事業者のマッチング機能を活用することで、関わり

のなかった層が関心を持ち、介護人材の裾野が広がるとともに、介護職へ参入しやすい環境が作られるなど、介護人材を確保する大きな効果が期待される。

**答** 業務改善制度では、提案された意見のうち、特に優秀な提案には表彰を行うとともに、取組内容を職員に展開している。

**問** 学び続ける職員を支える仕組みづくりに対する市長の考えはどうか。

**答** 他市に負けないアイデアとチャレンジし続ける意識が重要と考える。日々変わる社会環境に対し、考え方ややり方を変える能力を磨くとともに、個人の感性を大切にしながら、自ら考え、意欲的に業務を遂行できるように職員の成長を促していく。



谷口 睦生 議員  
医療DXの推進による円滑な  
予防接種事務のデジタル化を!!



**問** 予防接種事務のデジタル化の概要と効果はどうか。

**答** マイナンバーカードを活用してスマートフォン等で接種勧奨の通知を受け取ったり、接種履歴の確認や管理、接種漏れや間違いの防止、里帰り等による住所地以外での接種手続を簡素化するほか、自治体でも接種記録の管理や医療機関等への会計事務を効率化できる。

**問** デジタル化に向けたスケジュールはどうか。また、課題と、その解決方法はどうか。

**答** システム等の環境整備を

令和10年4月1日までに完了させる。課題は2点あると考える。1点目は、市民の理解と利用促進である。デジタル化は新しい手法であることから、操作方法に不慣れな方の不安解消のため、広報活動を強化し必要な知識の普及に努める。2点目は、医療機関との連携である。デジタル化に伴い、医療機関等の事務処理にも大きな変化が生じるため、医療機関等と連携してシステム運用の詳細を共有するとともに運用方法を検討し、円滑な運用ができるよう努める。

編集後記

かけはし

◆2026年がスタートしました。皆様はいかがお過ごしでしょうか。昨年は市制施行75周年の記念すべき節目の一年でした。市民の皆様と共に歩んできた歴史を振り返りながら、野外音楽フェス「KARUYA大演会」や東京ディズニーリゾート®スペシャルパレードをはじめとした様々な記念事業を開催することができました。これらの催しには、市内外から多くの方に御参加いただき、刈谷の街に多くのにぎわいと笑顔を生み出してくれました。御参加、御協力いただいた皆様に、心から感謝申し上げます。

◆2026年は、60年に一度しか巡って来ない、丙午（ひのえうま）の年です。丙（火）と午（馬）が組み合わさり、強いエネルギーで道を切り開く、躍動感や活力に満ちた年とされており、新しい挑戦や前進には良い時期と言われています。力強く駆け抜ける馬のように、75周年の勢いをさらに加速させ、刈谷市政が一層飛躍する年になることを願います。刈谷市議会とい

たしましても、市民の皆様の声に耳を傾け、さらに住みやすく活力あふれるまちづくりを推進するために全力を尽くしてまいります。

◆結びに、皆様にとって、2026年が心身ともに活気に満ちた、パワフルな一年になることを祈念いたします。本年も、どうぞよろしく願い申し上げます。

（議会広報委員会）